

第55回 千葉県教育研究会国語教育部会研修会 松戸大会

R3.11.12

記念講演 「国語科における深い学びの視点からの授業改善

－資質・能力を育成する指導と評価の一体化を目指して－

講師 樺山敏郎先生（大妻女子大学 家政学部児童科 准教授）

前文部科学省国立教育政策研究所 学力調査官・教育課程調査官

謝辞

ご紹介いただきました松戸市立新松戸西小学校 吉田です。

大変に僭越ではありますが、ご指名をいただき 一言お礼を申し上げます。

樺山先生、本日はご多用のところ誠に素晴らしい講演をしていただき、ありがとうございます。ありがとうございました。

先生には、全国学力・学習状況調査の結果の考察から、お話しいただき、松戸大会における「新しい時代を見据えた言葉の力を育む国語科の指導」という研究主題に対しまして、深い学びの視点からご教授をいただきました。

特に 資質・能力を育成する指導と評価の一体化

というところは、普段私が悩んでいるところのお答えをいただいたようでとてもスッキリいたしました。

また、「let's climb the mountains of learning」のキャッチコピーや「木を見て森も見る」という言葉、著述の中の「国語科は各教科等を始め、実生活につながる汎用性のある言語能力の育成の要の教科、基幹教科であるという使命を肝に銘じ、子どもたち自身が生きて働く言葉の力を実感できるような国語科教育をさらに充実させていくことが重要である。」にとっても感動をいたしました。

国語ってまさに大切な基幹教科であるとの思いを強くいたしました。

大変に簡単ですが、樺山先生の益々のご発展とご健康を祈念しますとともに、

本日のお礼とさせていただきます。

本日はありがとうございました。